

受験直前期は1分 1秒 答の根拠を本文で確認する
が惜しいと感じる人が増え、ことです。思うように解け
不安や焦りが多くの受験生 ないとしても諦めず、解説
を苦しめます。しかし、勉 書を有効に活用して、設問
強において焦りは1番の敵 で何を問われ、何を根拠に
です。様々なことに取り組 もう一度意識しましょう。
もうとするあまり、一つ一 古文・漢文は古文単語
つの学習の質が下がつてしまつたら、効果的な学習と 3-15や体系古典文法、漢文必携。または、自分が今までに学習で用いていた参考書をもういちど一から読み直しましょう。これからはセンターラインで忘れないつもりで学習に励んで下さい。皆さんの頑張りに期待しています。

国語

数学

理科

5 教科主任より 受験生諸君へ



センター試験までにひと月を切り、いよいよ受験も直前。より良い受験学習のために、何が大切か。今回は国・英・数・地歴公民・理科のそれぞれの主任から書いてもらった。受験生諸君の参考になればと考えている。

入試本番まであとわずかとなりました。受験が目とで、焦りや不安を強く感じる時期だと思いつます。自信を持つて入試に向かうために、次の2つの点に気をつけながら学習してみましょう。

1つ目は、毎日演習し、基礎力を確実にすることです。筋トレのように少しずつでも継続していくことで、基本的な公式が確認できたり、計算力がついたりします。演習するときは、間違えをつけるだけなく、間違えた部分の理由をしきりに確認しましょう。採点、確認に時間をかけた分だけ自

がるはずです。2つ目は、時間を使意識した演習をすることです。七夕で夕立試験は時間との勝負意識し、現実に点数に時間配分を付く問題を増やしていくください。また、私立大学では、客観的試験で記述式が結構ある人は、は、担当教員に添削をお願いするなどして力をつけていいつてください。人だけでこんなに数学を勉強するのではなく、最後かもしれない。しかし、ラストストップで頑張りたい。

生徒にしてセンター試験問題演習をしていての知識が少しづつ伸びるといふことがあります。つまりは曖昧なまま、解答を選択していきます。時間を作りて復習することで、文系理系問わず理科の点数は最後まで伸びます。直前の学習を効果的に実現するためには、次の3点を挙げたいと思います。

まず、センター試験今まで基礎基本を繰り返し、今までの演習したものを解き直しましよう。理解できなければ担当者に質問するなり、スタディーサブリを視聴するなりして、不得意分野の解消を。その後、簡

今後の英語学習では毎日英語に触ることが大切です。特に長文読解や、リスニングの練習を続けることで、語彙力、文法力、構文力を総合的に見直し、効果的に高められます。その中で特に理解が不十分な箇所がある時は、関係する文法事項や、構文、内容に関してじっくり読み直し、理解していくことを続けてください。1題ずつ丁寧に解き知識や理解を深めていくことが自信になります。リスニングは集中して取り組めば、短時間でも伸びる科目

試験の出題形式も研究し、問題形式ごとに練習を積み時間配分を意識して、正解率とスピードを上げていく練習をしましょう。同時に自分が直接受ける試験では過去問などで研究し、対策を立てていくことが大切です。全文訳や、自由英作文の対策では担当の先生に添削を頼み、コツを身に付けましょう。

違つてきます。大学入試において、地歴公民の対策は科目によつて文系の日本史・世界史について今まで実に多くのことを勉強してきたはずですが、頭の中に時代やテマごとの引き出しがあります。その中に細かい知識が詰まつています。そういう状態が望まれています。そして、知識どうしが因果関係によつて強く結び合っていると、より早く問題の答えを導き出すことができます。今からでも遅くはないので、「なぜこの出来事が起きたのだろうか?」とか「この出来事はどうなったのだろうか?」といった根本的な

理系の地理については地理解が單語だけの知識になります。では地理解が不十分となります。では地理解がグラフ・表・写真といつた視覚的資料を普段からじつくりと觀察して、できるだけ多くの情報を引き出せるだけ訓練をしておきましょう。また、提示された視覚的資料の種類に応じて、出題者の意図を読み解くことがでなければ、それが一番の正解への近道です。

現代社会については、毎日わざかな時間でもよいので、メディアを通して今まで心を持ち続けて下さい。入試本番まで気を抜かず。ベストを尽くしましょう。

審査の結果、最優秀賞は『味覚による心拍数の変化』、サイエンス賞として審査の結果、最優秀賞

4限は、大ホールで直接発表を聞くことができなかつたボスターを見学し、すべての内容をじっくりと見ることができた。

3限は各クラスのグループの半数ずつを見学者と発表者とに分け、時間を入れ替えて発表を行った。他クラスの生徒や教師も見学に来ており、見学者は各自興味を持ったボスターの前で発表を聞き、熱心に質問をするなどして、盛り上がりを見せていた。

2限は、大ホールにて、文理コース理系(3年1組、B2年1組、2組)の探究活動発表会がボスター・セッションにて行われた。

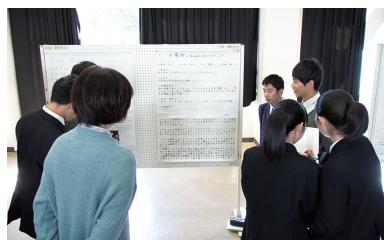
探究活動タイトル

班	題名	生徒
B3-1-1	沖縄希少生物と環境問題(続編)	川西 正哉
B3-1-2	電波で流星をとらえる	鈴木 亮太
B3-1-3	タンパク質分解酵素について	寺内 悠人
B3-1-4	味覚による心拍数の変化	高山 悠斗、泉川 留吾、工藤 佑月、中村 凌介
B3-1-5	YOGORE	細井 幸音、鈴木 花音、野口 愛佳
B3-1-6	#洗濯してみた	寺澤 春恵、長嶋 みなみ、中村 夏希
B3-1-7	それって、ホントなの?? ~身体の計測~	田中 千奈津、藤原 くるみ、町田 美優、成瀬 叶
B3-1-8	過去と未来の勉強法の差	渡邊 冬偉、蛭間 俊介、樋口 葵、斎藤 宙
B2-1-1	防水と撥水	有川 海里、小島 誠大、長谷川 孝弘
B2-1-2	色と温度の関係	稻木 茜、新美 綾音、山中 沙織、山根 翠優
B2-2-1	洗剤と汚れの関係	市丸 将希、塙 咲斗、渡邊 飛翔
B2-2-2	飛べ!!僕らのソフトグライダー～遠くまで飛べるソフトグライダーの要因とは～	伊藤 翔太、下坂 将也、古瀬 雄也
B2-2-3	糸電話での音の伝わり方	大谷 晟剛、小松崎 健ノ介、佐久間 凱也、須見 茉太
B2-2-4	食塩と岩塩で物体の浮力は変わるものか	加藤 立輝、神原 正弥、小林 恭也、野村 優翔
B2-2-5	友情コンボでどれだけ跳ねる?	小堀 岳、早乙女 翔真、高橋 祐人、本田 力
B2-2-6	骨は溶けるのか	麻生 弥菜、金子 美朱、木口 昌紀、清野 桃香
B2-2-7	おかし作りでの粉の重要さ	荒井 麻帆、出井 萌絵、塙田 莉子
B2-2-8	食べ物と飲み物の色の関係	岩崎 あゆみ、関口 智尋
B2-2-9	握力を上げる呼吸法	内海 佑理、采澤 朱莉、高橋 百花、森田 結葵
B2-2-10	飲み物の骨への影響	岸 衣吹、栗原 陽南、野澤 ひなた、早川 貴樹



熱心に聞き入る

『タンパク質分解酵素について』、クリエイティブ賞として『それって、ホントなの?? ~身体の計測~』がそれ選ばれた。受賞はすべて3年生のグループであつたが、2年生にも多くの興味深い探究があり、来年度も期待できる内容であつた。



好奇心を抱いて

文理コース理系 探究活動発表会

冬休みの注意 生活指導部より

それぞれの目標を明確にし取り組んでほしい。

任へ提出。(高校生のみ)
「アルバイトについて」

・アルバイトは原則禁止。
ただし、家庭の都合でやむを得ないと判断した場合は、保護者の申し出により許可する場合もある。

(高校生の場合のみ) 中学生は全面禁止)

克服すべき課題を見つけて取り組んでほしい。

以下、冬期休暇中の注意事項を述べておく。

明日から冬休み。年末・年始の慌しい時期だが、本校生としての自覚を大切に、学生らしい生活を送つてほしい。行事などが多く、年末年始の気持の緩みから事故やトラブルに巻き込まれやすい時期であることを自覚して、生活を送ること。

近年ではインターネットの普及や、SNSの発達などによって、見知らぬ者同士が簡単に交流ができるようになってきたが、個人情報の管理に留意し、SNSに安直に自分の情報をアップしたり、素性のわからない人と交流を持ち、事件や事故などの被害にあわないよう十分に注意をしてほしい。

また、インフルエンザの流行も早めに始まっていることなので、規則正しい生活を送り、部屋の換気を励行して、風邪やインフルエンザにからならないよう

・外出の際は帰宅時間を家族に伝え、外泊は控える。
・生徒として望ましくない不正行為等は厳禁。
・登下校時は制服を着用すること。

・旅行届を事前に提出し、許可を必ず得ること。父母同伴を原則とするが、そうではない場合は旅行届に保護者の同意書を添えて提出する。

【交通安全について】
・交通マナー、規則を遵守し、事故に注意すること。
・無免許運転、暴走行為は厳禁。

【期末試験(3年)】
1日(日) 第6回入試説明会
2日(月) ~ 4日(水)
期末試験(3年)

【期末試験(1・2年)】
2日(月) ~ 5日(木)
期末試験(1・2年)

【GTExC(1・2年)】
7日(土)
GTExC(1・2年)

【第8回入試説明会】
8日(日)
第8回入試説明会

【第7回入試説明会】
19日(木) ~ 21日(土)
三者面談

【3年生の普通免許取得のための自動車教習所への入所は、進路決定者に限り1月17日(金)以降に許可する。事前に届けを担

教務日誌抄 〈高校〉

・各コースは、次の記号で表示されます。
中高一貫コース N
特別選抜Sコース S
特別選抜コース T
選抜コース A
グローバルコース G
文理コース B

・交通事故などに遭遇した際は、すぐに担任または学校に連絡すること。
・3年生の普通免許取得のための自動車教習所への入所は、進路決定者に限り1月17日(金)以降に許可する。事前に届けを担

23日(火) ~ 20日(日)
冬期講習
19日(木) ~ 21日(土)
三者面談
19日(木) ~ 20日(金)
期末試験判定会議
19日(木) ~ 27日(金)
壮行式

柔道 女子3年連続11回目の優勝



11月9日(土)・10日(日)
県武道館において県高校新人柔道大会が行われた。

9日の団体戦では、男子

が決勝で白鷗足利高校と対戦。2対2となつたが、内容差で敗れ、準優勝となつた。

女子は6校総当たりのリーグ戦で行われ、全勝で3年連続、11回目の優勝となつた。

女子は6校総当たりのリーグ戦で行われ、全勝で3年連続、11回目の優勝となつた。



各階級優勝者



先輩の話に耳を傾ける

キャリア講演会

11月13日(水)、本校卒業生等の社会人を招聘し、講演やパネルディスカッションを通じ、今後の人生設計を考えることを目的として、

1学年対象キャリア講演会が実施された。最初に各会場で生徒が希望した講座を受講、その後全員が四十周年記念館に移動し、代表生徒と4名の講師の方々とのパネルディスカッションが行われた。生徒たちは社会で活躍する講師の方々の話に耳を傾け、自らの今後の方針を考える機会になつた。

なお、講師の方々は次の一

模擬国連活動



出場した菊地君と山岸君

人権教育

11月13日(水)に2・3学年が、11月20日(水)に1学年が、LHRの時間を使い

年ごとにテーマを定めてワークなどを通して人権意識を高めることを目的に、

学年ごとにテーマを定めて

行われた。

小論文講演会

会議では公式スピーチを英語で行い、その後グループ

ワークを実施、議論を戦わせながら、問題点をそれ

ぞに指摘し合つていた。

11月23日(土、インター)

アクトクラブの生徒を含む本校生28名が災害ボランティアに参加。被災した家屋の復旧作業を行つた。小雨が降る空模様であつたが、

家屋の泥出しを行い、被災者の方々のために、全員で協力して作業を進めることができた。

ミニュージカル部

11月24日(日)、駒沢オリンピック公園体育館で開催された令和元年度関東ダンスドリル大会

スドリル秋季競技大会ノヴァエルティ部門に出演「メリ

ーポ・ピング」をモチーフにした踊りを披露し、全国大

会連続出場を目指したが、一步及ばず、出場権を得ることはできなかつた。

インター アクト



小雨の中のボランティア



ダンスの成果を魅せる

花園ラグビー 対 報徳学園高(兵庫)と山形中央高の勝者

12月30日(月)午後12時00分 東大阪市 花園ラグビー場



春高バレー 対 延岡学園高(宮崎県)と奈良文化高の勝者

1月6日(月)午後4時50分 武藏野の森 総合スポーツプラザ

み
ど
こ
ろ

攻撃の軸は、インターハイ優秀選手賞を受けたMBチュクビヨンセサトミ選手。さらに高身長の中峯ビビアン選手、WS那須みかん選手の3人。センター陣の高速を活かしたサイドから速い攻撃がみどころ。リベロ(主将)の舟田璃々香選手とWS那須手を軸としたレセプション選手のトスワークも注目。スピードのあるコンビバレーを繰り広げられるよう期待する。

F W 8人平均体重 93kg
F W 5人平均体重 97kg
重量スクランブルでどのくらい観衆を沸かせられるか、またFWとBKが一となった攻撃がみどころ。体抜群のキャプテンシーをもつSH北村瞬太郎主将校日本代表候補のSO伊藤耕太郎選手のハーフ団の動きやチャンスメイクもポイントとなる。出場51校の中学生たちの実力を花園で大いに発揮してほしい。

み
ど
こ
ろ

背番号 ポジション	選手名 コートネーム	学年	身長 最高到達点	選手について
1 ウイング スパイカー	那須 みかん カナタ	B3年	170cm 284cm	攻守におけるチームの要
2 ミドルブロッカー	チュクビヨンセサトミ シホ	B3年	172cm 297cm	高さのあるスパイクとブロック
4 ウイング スパイカー	大根田 妃菜 セラ	B2年	170cm 285cm	パンチ力のあるスパイク
5 ウイング スパイカー	大塚 月楠 ユキ	B1年	170cm 273cm	ディフェンス力でチームを支える
6 セッター	佐藤 花優 サラ	B3年	166cm 276cm	大胆なトスワーク
7 リベロ(主将)	舟田 璃々香 カノ	B3年	161cm 272cm	守護神
8 ミドルブロッcker	中峯ビビアン サン	B2年	186cm 290cm	ブロックを弾き飛ばすスパイク

背番号	選手名	学年	身長/体重	選手について
1 PR	中野 一樹	B3年	177cm/109kg	安定したスクランブル
2 HO	石井 天馬	B3年	179cm/102kg	FWリーダー
3 PR	藤倉 大介	B3年	177cm/125kg	スクランム・モールの中心
4 LO	佐藤 大地	B2年	182cm/85kg	キックオフ空中戦に強い
5 LO	山崎 祥希	B2年	182cm/98kg	突破・前進 U17関東代表
6 FL	小澤 聖也	B3年	170cm/82kg	ハードタックラー 寮長
7 FL	武 育也	B3年	174cm/87kg	バイスキャプテン
8 No.8	吉田 真理	B2年	177cm/91kg	U17日本代表
9 SH	北村瞬太郎	B3年	168cm/68kg	抜群のキャプテンシー
10 SO	伊藤耕太郎	B3年	177cm/80kg	セブンズユース日本代表
11 WTB	細矢 聖樹	B2年	162cm/57kg	超高速パスマスター
12 C TB	佐藤 俊希	B3年	175cm/85kg	バス・アシスト・突破
13 C TB	菱田一風樹	B3年	177cm/86kg	ディフェンスの要
14 WTB	青柳龍之介	B2年	175cm/82kg	人に強い
15 FB	山田 翔平	B3年	176cm/80kg	プレースキッカー

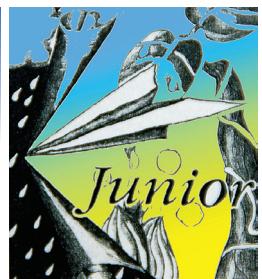


女子World School Sevens大会 ニュージーランド遠征へ
話題が、12月8日(日)～15日(月)の日程でオーエランドで行われた世界大会に招集された。高校3年生が主体でメンバー構成されている中、勝負強さとラインプレイク能力の高さが評価され、1年生ながら選出される快挙となりました。高橋選手は「パス・ステップ・判断力を活かし、試合に出られるが、がんばります」と語りました。高橋選手は「パス・ステップ・判断力を



新しく来る年に向けて、今年の総決算

2学期が終わり、冬期休暇を迎える。この時期には各学年で3者面談が実施され、今年1年の振り返りと、来年に向けた課題についての話題が出される。今年度、充実した生活を送れた者もいれば、さらなる努力を誓う生徒もいる。それぞれが来年に向けた目標を持つことで、決意とともに、新たな年を迎えてほしいと考えている。



校外学習

1年生は8日に日光方面での校外学習を実施した。中学校では11月7日(木)から9日(土)にかけて、各学年で校外学習が実施された。

2年生は8日から9日にかけて、1泊2日で鎌倉を訪れた。初日は鎌倉市内を各班に分かれて散策し、各班がテーマに沿って調べ学習を行った。原始・古代から現代に到るまでの長い歴史を持ち、関東でも有数の文化都市である鎌倉の見学は、生徒たちにとって良い刺激となつた。2日目には江ノ島付近に移動し、江ノ島水族館を見学するなどし



氷室神社に参拝する3年生



二荒山神社の御神木胎内に収まる

2年生は8日から9日にかけて、1泊2日で鎌倉を訪れた。初日は鎌倉市内を各班に分かれて散策し、各班に分かれて学習を行つたが、最後の校外学習といふこともあり、奈良市内・京都市内という枠にとらわれることなく、近隣の京都府宇治市や奈良県天理市など、時間の許す限り遠出をして研修を行つた。



長谷寺の地蔵の前でポーズ



2年生の学習発表会

3年生は7日から9日にかけて、奈良・京都での学習を行つた。初日と3日目にに京都を、2日目に奈良を観察した。3年生も2年生同様に各班に分かれて学習を行つたが、最後の校外学習といふこともあり、奈良市内・京都市内という枠にとらわれることなく、近隣の京都府宇治市や奈良県天理市など、時間の許す限り遠出をして研修を行つた。

教務日誌抄(中学)		期末試験		12月	
16日(月)	ボキャブラリー・	23日(月)	19日(木)	14日(土)	2日(月)～5日(木)
コンテスト		冬期講習	成績判定会議	第2回入学試験	第2回入学試験

学年	クラス	ホームルーム委員	体育委員	図書委員	保健委員	環境美化委員
1年	1組	鈴木 榮人	鈴木 貴晃	荒牧 蒼空	貴船 透太	小林 知寛
		小堀 綾子	柿沼 歩花	大石 桃萌	宇都木真奈	山本 佳奈
	2組	野島 剛生	立野岡拓史	大橋 悠人	岩澤 紘	金子 敬亮
		坪山 遥音	渥美 佳蓮	高橋 優乃	長田 和子	安住 海帆
2年	1組	癸生川浩基	大嶋 真平	山根 史也	浅野 叶	片山 涼
		早川 花南	三浦 華穂	坂本 悠歩	宇賀神 茜	大高 紗夏
	2組	田邊 将之	堀江 和也	高橋 拓也	松岡 光雅	櫛田 崇太
		五月女桜子	符 文嘉	菊池 理央	鈴木 莉衣	藤田 佳子
3年	1組	坂本 隼宥	小口 賢輔	渡辺 雄文	徳永 祐太	落合 啓太
		長本 朋夏	伊藤 媛香	菅野谷百恵	合津 純羽	鈴木 凤

後期ホームルーム委員

中学校の後期ホームルーム委員が決定した。台風の影響等により当初の予定よりも遅いスタートとなつたが、各委員のメンバーが決定したことにより、後期の委員会活動が本格的にスタートすることとなる。

校外学習終了後、各学年において学習発表会が行われ、各学年・各班がプレゼンテーションを行つた。発表はkeynoteとよばれるソフトなどを使つて行われ、それぞれが工夫を凝らした発表を行つた。特に3年生はオーストラリア語学研修が近いこともあり、現地での発表も視野に入れ英語でのプレゼンテーションを行つた。さすがに英語での発表には慣れな者も多く、苦戦をしている様子だつたが、新しいことに挑戦しようとする姿勢をしっかりとみせ、オーストラリアでの研修につながる良い発表となつた。